

施工説明書

FD35SP 上吊式連動引戸

上ローラー木口掘込 デュアルソフトクローザー仕様

LAMP®

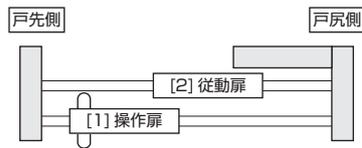
品番
FD35SP-HRP2
FD35SP-HRP3

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 扉を戸先と戸尻の双方向にゆっくりと静かに開閉させるデュアルソフトクローザーと連動を組み合わせた引戸金物です。
- 一般住宅室内向けだけでなく、店舗や施設にも使用可能な屋内用の上吊式引戸金物です。

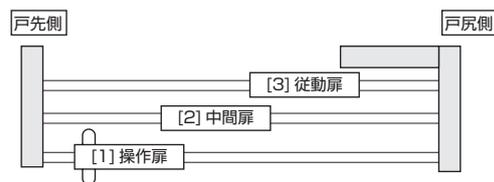
2枚連動



- ・使用場所の室温、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じ速度は変わります。
- ・使用推奨温度範囲は5℃～40℃です。

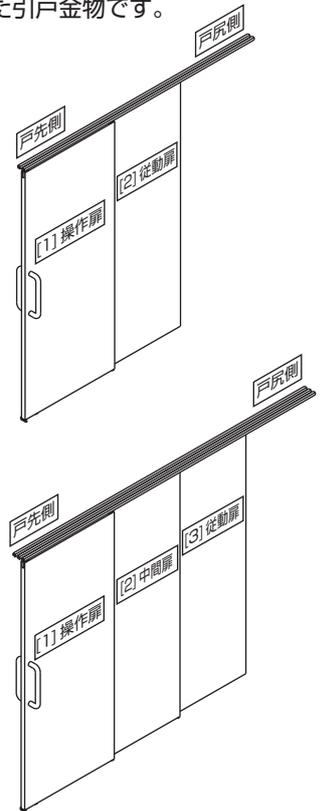
有効開口幅 (RO) (扉引残しDN無しの場合)	扉幅	扉高さ (DH)	扉厚 (Dt)	扉質量 (1枚当り)	扉上下 調整範囲	扉左右 調整範囲
1020～1840 mm	590～1000 mm	2400 mm以下	30～38 mm	35 kg 以下	±4 mm	±2 mm

3枚連動



- ・使用場所の室温、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じ速度は変わります。
- ・使用推奨温度範囲は5℃～40℃です。

有効開口幅 (RO) (扉引残しDN無しの場合)	扉幅	扉高さ (DH)	扉厚 (Dt)	扉質量 (1枚当り)	扉上下 調整範囲	扉左右 調整範囲
1530～2760 mm	590～1000 mm	2400 mm以下	30～38 mm	35 kg 以下	±4 mm	±2 mm



正しく安全に施工していただくために

- ⚠ 警告・注意 ⚡ 禁止 ⚠ 厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- ・本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをすることがあります。
- ・扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをすることがあります。



- ・本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ・本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



- ・指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ・部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ・本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ・ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

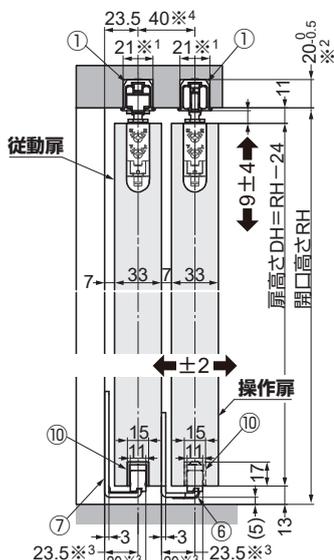
部品一覧 (2枚連動)

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
品名	ソフトクローザー 専用上レール (面付用)	ソフトクローザー 専用上レール (掘込用)	デュアル ソフト クローザー	後付 トリガー	上ローラー (掘込用)	後付 トリガー	連動用扉付 下ガイド	枠付 下ガイド	連動用扉 下ガイド ブロック	バンパー ブロック	扉下側埋込 ガイドレール
品番	FD35EV-TRM-SC型	FD35EV-TRH-SC型	FD35SP-WRH-DSC	FD35SP-TRG-SL	FD35SP-WRH-N	FD35SP-TRG-SL	FD30-HRDG	FD30-HBGF	FD30-HRDB	FD35EV-HBB型	FD30-HBRT型
部品	 長さ: 1820mm いずれか2本 穴ピッチ: 300mm ピッチエンド: 30mm				 ナット付						
付属品	-	-	十字穴付平頭 タッピンねじ 3.8 × 40…3本	十字穴付小径皿 タッピンねじ4×30 皿頭径φ6…2本	十字穴付平頭 タッピンねじ 3.8 × 40…3本	十字穴付小径皿 タッピンねじ4×30 皿頭径φ6…2本	十字穴付平頭 タッピンねじ 4 × 25…5本	十字穴付平頭 タッピンねじ 4 × 25…4本	十字穴付トラス タッピンねじ 3.5 × 30…1本	-	-
備考	推奨ねじ: 皿タッピンねじ 3.5 × 25	-	-	②に付属	-	-	-	-	-	-	推奨ねじ: 皿タッピンねじ 4 × 20

付属品: スパナ FDSP-SP

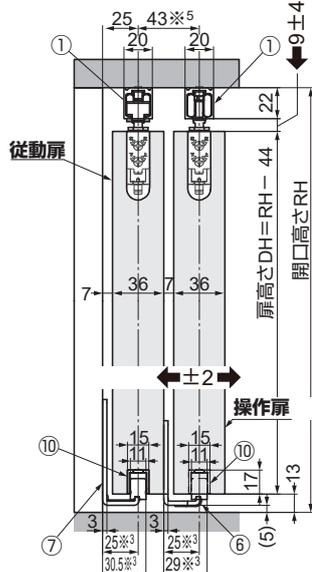
寸法図

※4 扉厚 30 ~ 34 の場合



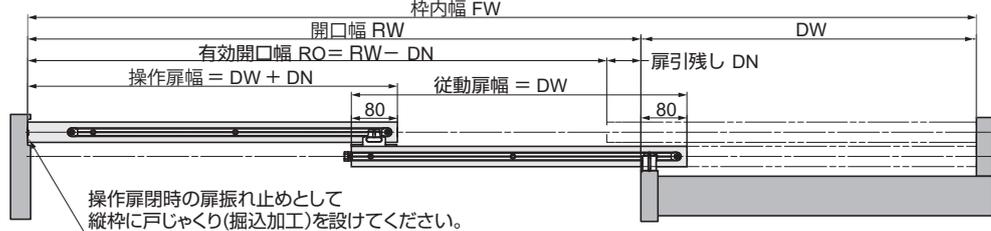
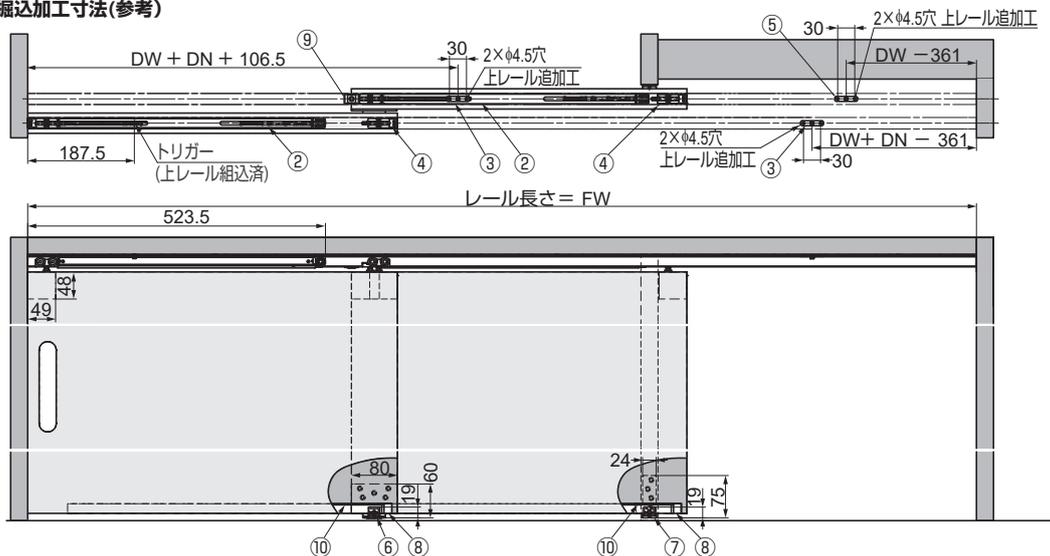
扉厚33 mm、上レール(掘込用)使用時

※5 扉厚扉厚 35 ~ 38 の場合



扉厚36 mm、上レール(面付用)使用時

※2 掘込加工寸法(参考)

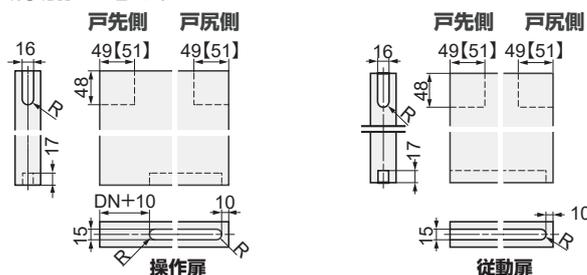


※1 掘込加工寸法は21(参考加工寸法)です。クロス等を巻き込む場合、別途寸法を加味してください。

※2 参考加工寸法です。

※3 連動用扉付下ガイド⑥、枠付下ガイド⑦のガイドブロック部品の差し替えで対応します。

扉加工寸法 [] 寸法は、オプションの上ローラー化粧キャップ使用時です。

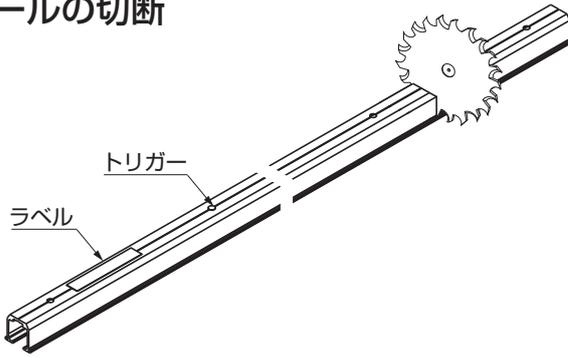


■ 扉幅基準寸法DW計算式

$$DW = \frac{FW + 160 - DN}{3}$$

FW: 枠内幅寸法
DN: 扉引残し寸法

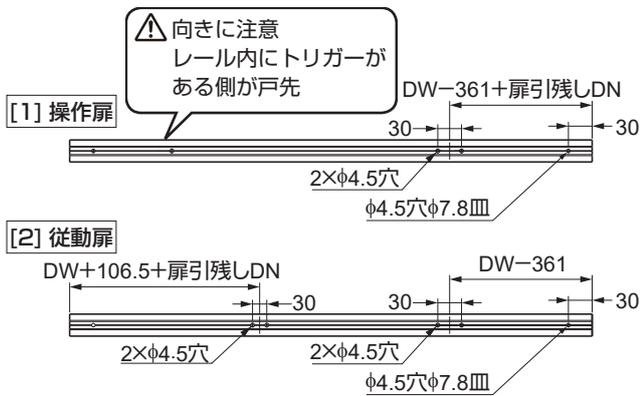
1 上レールの切断



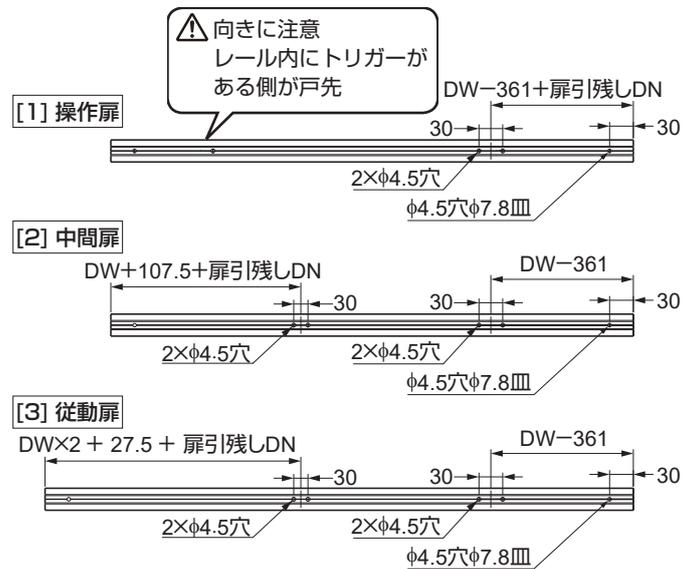
- ⚠ 注意**
 ① トリガー (ラベル) 側は切断しないでください。
- ⚠ 注意**
 ② レールが変形しないように補強材などをに入れて切断してください。

2 上レール穴加工

〈2枚連動の場合〉

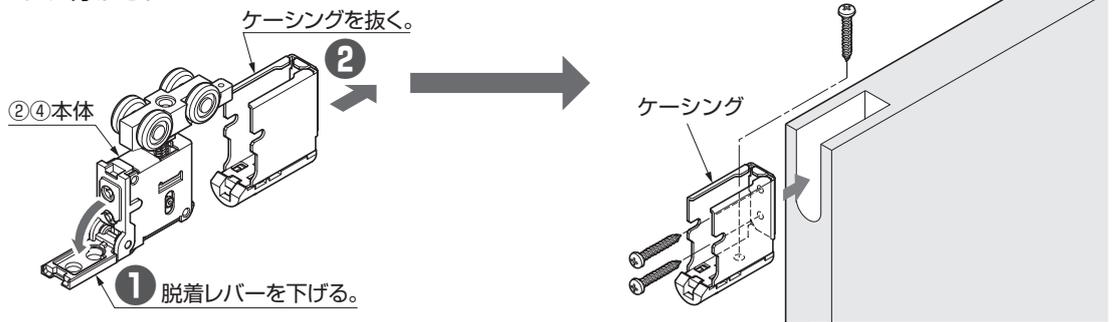


〈3枚連動の場合〉



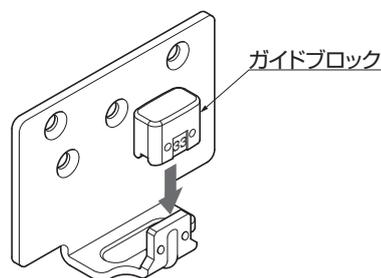
3 扉へのケーシングの取付け

ソフトクローザーと上ローラーをそれぞれ、本体とケーシングに分ける。



4 扉下ガイドの組立て

扉厚に応じて、ガイドブロックの向きを変える。



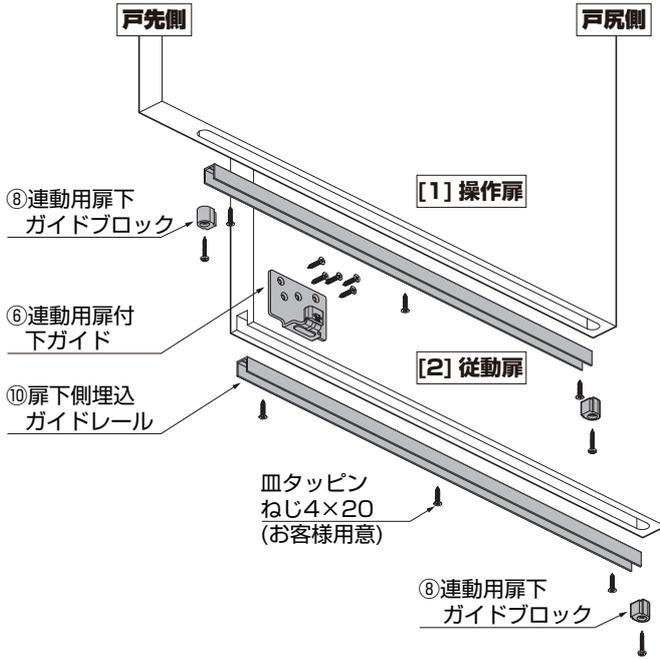
扉厚	部品の刻印
30 ~ 34	33
35 ~ 38	36



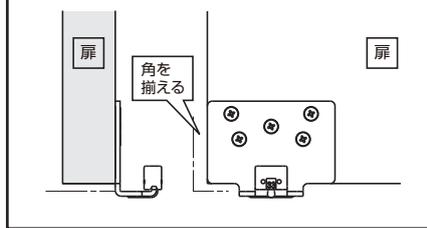
5 連動部品の取付け

△ 扉の左右勝手違いの場合は、図の向きに対し反転して取り付けてください。

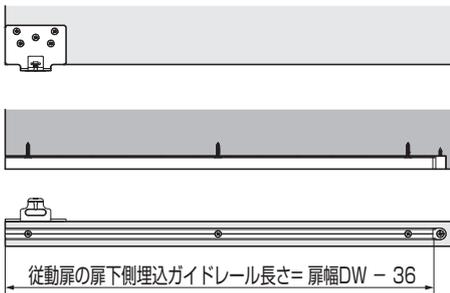
〈2枚連動の場合〉



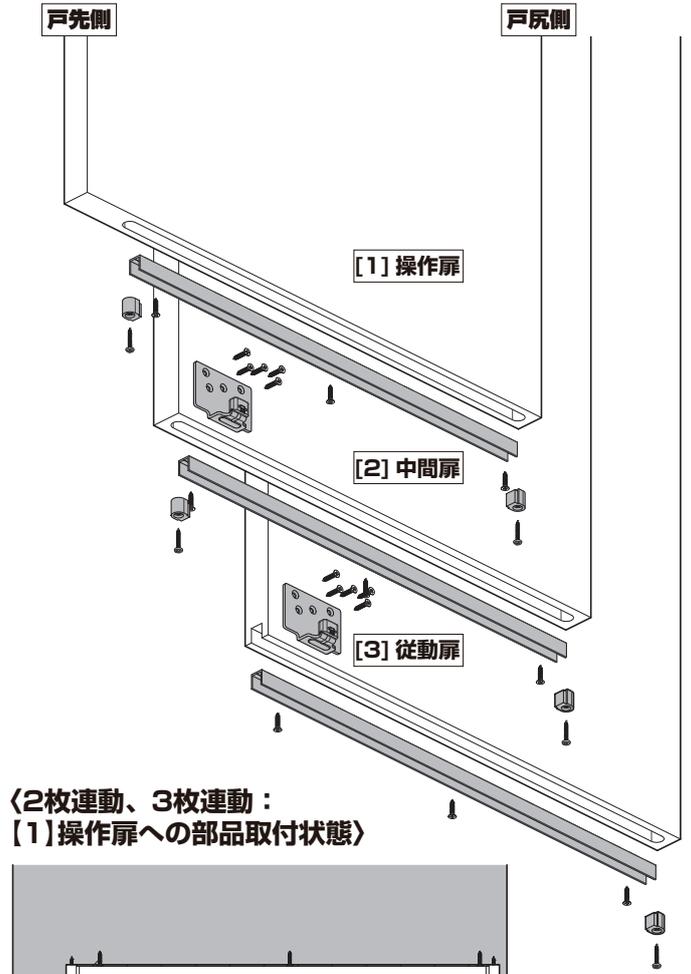
△ 連動用扉付下ガイドの取付けは、扉の角と部品の角を揃えて取り付けてください。



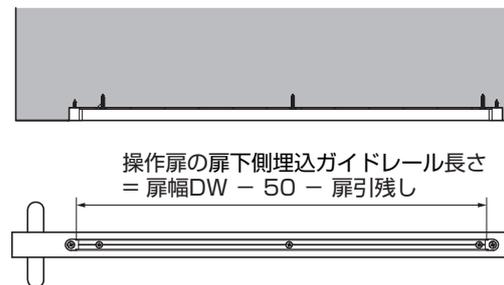
〈2枚連動：[2] 従動扉への部品取付状態〉



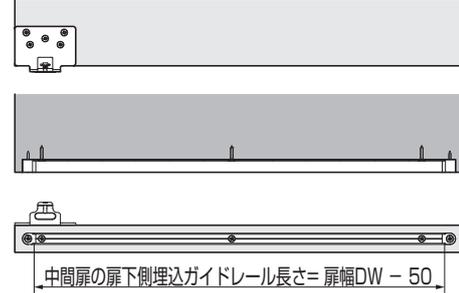
〈3枚連動の場合〉



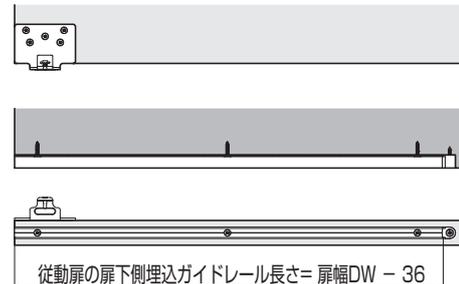
〈2枚連動、3枚連動：[1] 操作扉への部品取付状態〉



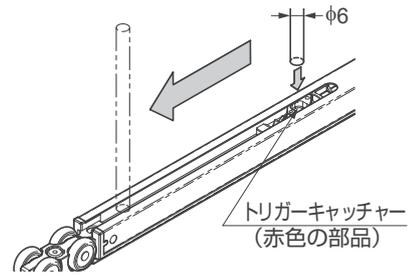
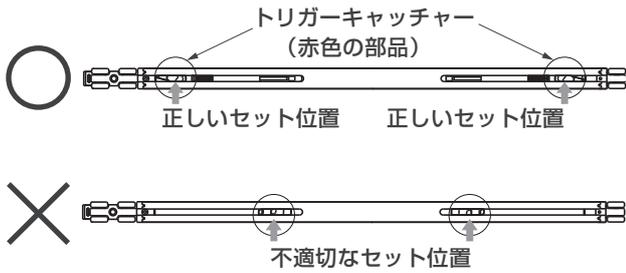
〈3枚連動：[2] 中間扉への部品取付状態〉



〈3枚連動：[3] 従動扉への部品取付状態〉



6 ソフトクローザー取付前の確認



⚠ 注意

確認しないで取付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。

位置が正しくない場合、 $\phi 6$ の硬い丸棒等でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻す。

7 部品の組み込み、上レールの取付け

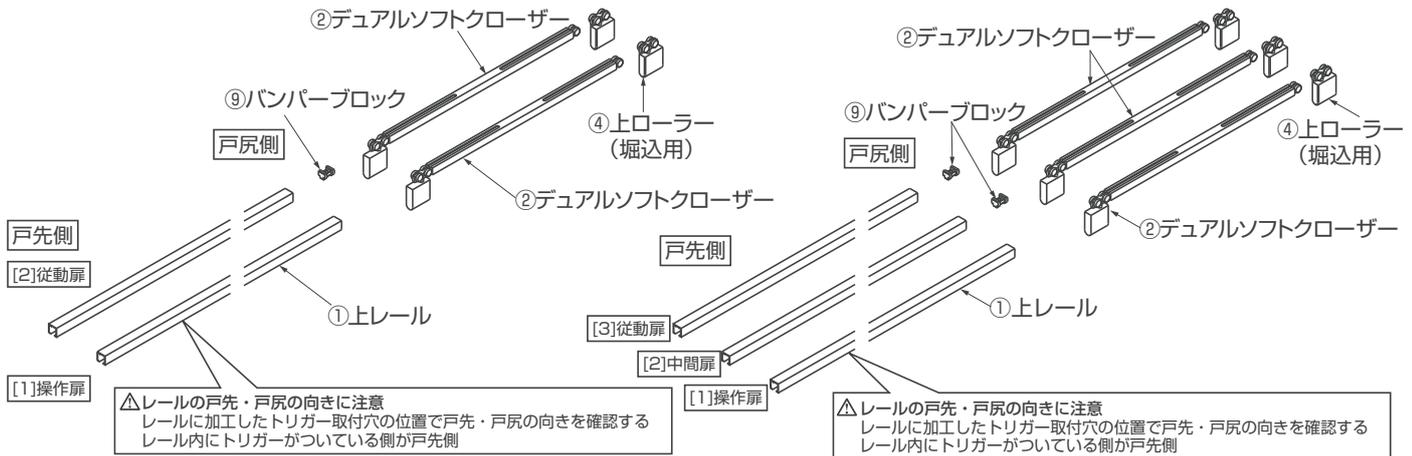
図に示した向き・順序で部品を挿入する。組み込んだ部品が落ちないように、部品をテープで仮止めする。

⚠ 上レール内の、ゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

⚠ 上レールに取付ねじは付属していません（推奨ねじ：十字穴付皿タッピンねじ 3.5 × 25）。

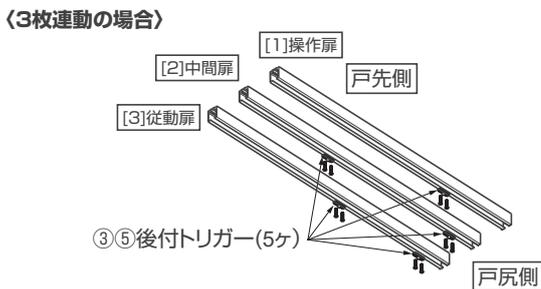
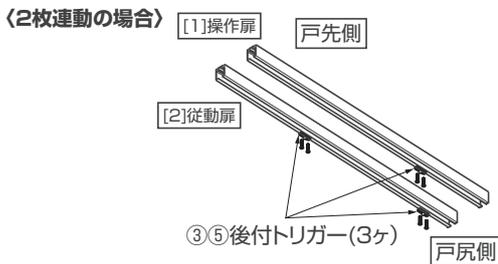
〈2枚連動の場合〉

〈3枚連動の場合〉



8 後付トリガーの取付け

後付トリガーを手順②で開けた取付穴に付属ねじで固定する。

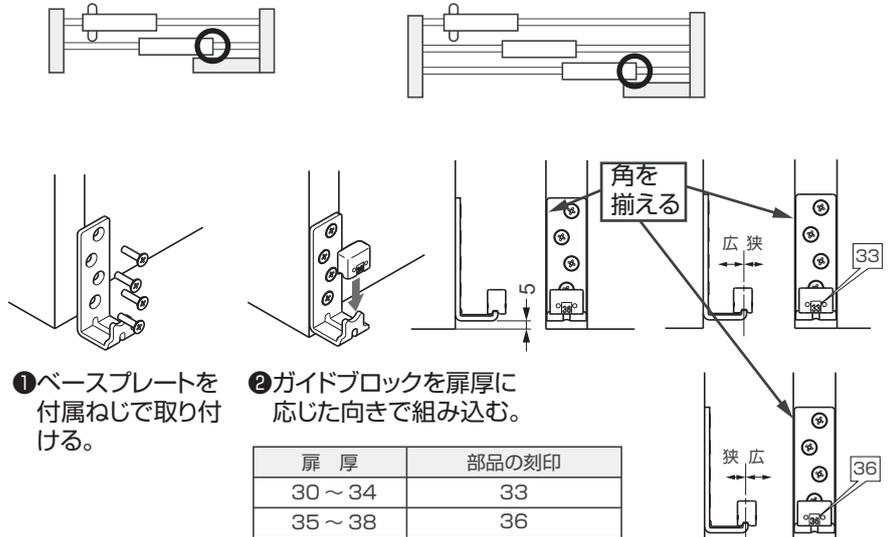


9 枠付下ガイドの取付け

(下記○の位置に取付ける)

〈2枚連動の場合〉

〈3枚連動の場合〉



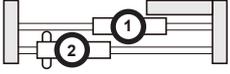
10 扉の吊込み

- 【1】吊込みの順序
①～③の順に吊り込む。

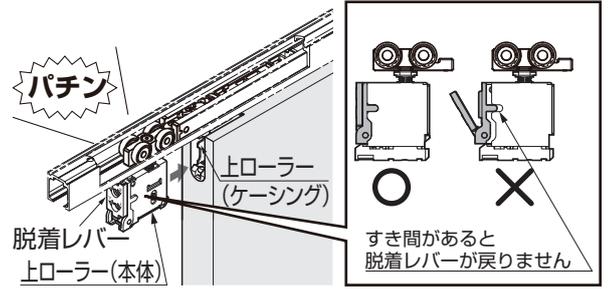
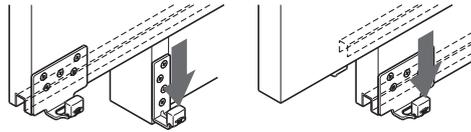
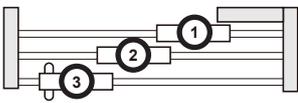
- 【2】扉の下に13 mmのかいものを置き、
下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。

- 【3】上ローラー（本体）のはめ込み上ローラーを
クリック音がするまで差し込む。
上ローラー（本体）がケーシングから外れないか
確認する。（戸先、戸尻両側）

〈2枚連動の場合〉

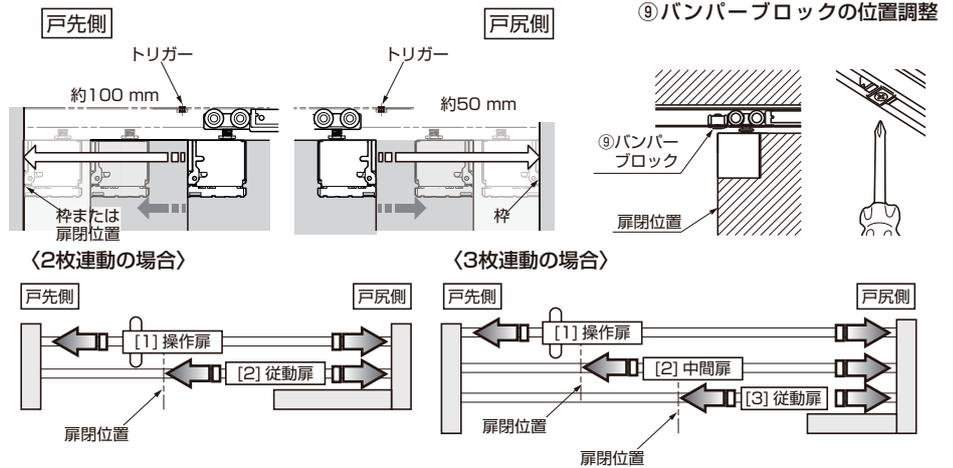


〈3枚連動の場合〉



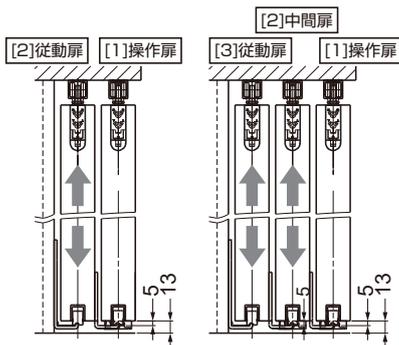
11 クローザーの動作確認

- 扉の下からかいものを外す。
- 扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーがトリガーに当たり、扉が最後まで閉じるか確認する。
- 【1】操作扉（デュアルソフトクローザー）は戸尻側でも同様に確認する。
- クローザーが正しく機能していない場合は、P.8の「困ったときの対応」を参照。
- 戸先側において、扉の閉位置が納まり寸法上の正しい位置になるように、レール内のバンパーブロックの位置を調整し、ねじを締めて固定する。



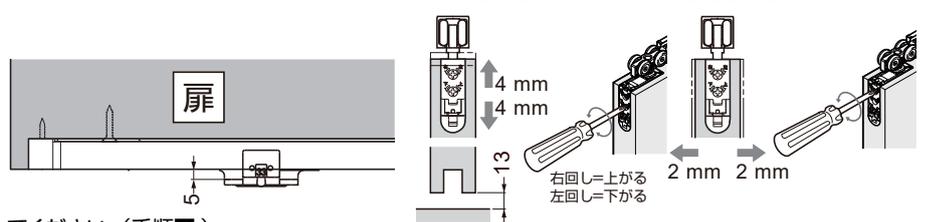
12 扉の調整

- 調整順序は、【1】操作扉、【2】中間扉、【3】従動扉の順。
- 操作扉は上レールと平行で床面とのすき間が13 mmになるように調整する。
- 中間扉、従動扉は、扉と連動用扉下ガイドの上面とのすき間が5 mmになるように調整する。



- ⚠ 上下調整は、跳ね上がり防止ナット（11参照）が緩んだ状態で行ってください。
- ⊘ 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。
- ⊘ 調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。

上下調整範囲: 8 mm 前後調整範囲: 4mm

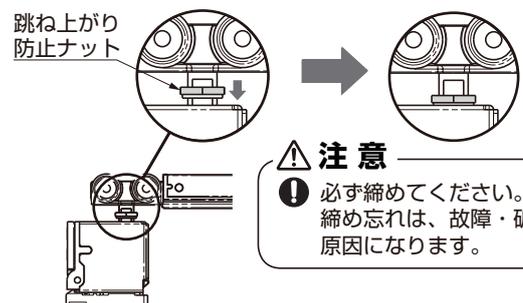
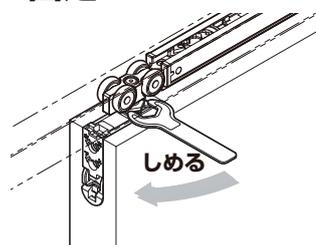


扉の上下調整後、もう一度、クローザーの動作を確認してください。（手順11）

クローザーが最後まで引き込み切らない場合、扉と連動用扉下ガイドの上面とのすき間が5 mm より狭くなっている可能性があります。その場合、中間扉、従動扉を少し下げてください。

13 跳ね上がり防止ナットの固定

両側のローラー吊り軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまで締め付ける。

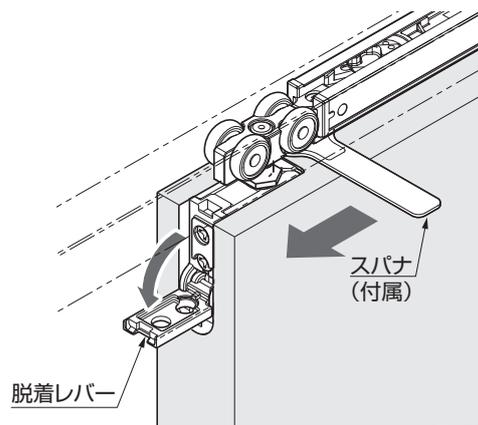


補足 扉の外し方

- ・扉の下に13 mmのかいものをはさむ。
- ・上ローラー(本体)の脱着レバーを下げたまま、上ローラーをケーシングから引き抜く。
- ・脱着しづらい場合には、跳ね上がり防止ナットをゆるめる。
- ・付属のスパナなどで、ローラーの吊り軸を矢印方向に押しと外れやすい。

注意

- ❗ 扉を倒さないよう注意してください。



定期点検

- ・レール内を掃除してください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまふ	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後、扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 9 ~ 17 mm になるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。
扉がソフトクローズしない	モヘア等を使用していませんか。	モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じることは、故障の原因になりますのでおやめください。
扉の開閉時に異音が発生する	P.6 手順 6 のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります (上レールに組み込んだ状態では確認できません)。	戸先側と戸尻側それぞれの縦枠に対して、ゆっくりと確実に扉を押し込んでください。それでも改善されない場合は、扉とレールを取り外し、P.6 手順 6 の確認をしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものごとすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉が開閉しない	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものごとすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2024.07 1624-1j